



企業理念の原点に戻り 新しい快適環境を提供

(株)九州住建

ビジネスに活路を 見出す機会として

住宅建築のリフォームや設備工事で基盤を築いた(株)九州住建。自然環境に恵まれた糸島に本社を置き、「顧客第一主義」を理念に掲げ、住まう人に快適な生活空間を提供することを最優先事項と捉えてきた。快適さの概念は、時と場所によって定義が変わる。そのなかで笠俊治社長は、「快適さ」と「エコロジー」は切っても切れないものと考え、これらを住まいというステージのなかでつなぎ合わせることを同社の使命と考えている。同社がECO環境促進事業として取り組む「太陽光発電システム」「オール電化」「LED照明システム」「屋上・壁面緑化」「遮熱フィルム・塗装」などは、その使命を具体化するための手段だ。

昨年は中国市場を視察し、中国が環境に対して謙虚に取り組み始めると、日本より大きなビジネスが生まれるのではないかと思った。もともと、事業を起すのであれば先陣を切り、後に来る人たちが歩きやすいよう道を整えておきたい性分だ。



代表取締役 笠 俊治 氏

振り役でありたいとも思うし、切り込み隊長でありたいとも思う。

ただ、今は海外に目を向けるより、糸島という自分のホームグラウンドをしっかりと見つめて基盤を整えることを重視する。糸島の素晴らしい環境とリノベーション住宅を組み合わせたものをブランド化していければと夢も膨らむ。だが、日本国内は政策が定まらないうと、環境商材を絡めるビジネスプランは長期計画には乗せにくい。「快適さ」を「エコロジー」と結びつける方法論のほか、ビジネスに活路を見出すときが来た。

そして新しい快適さの基準として、「人と人とのつながり」に目を留めた。まるで地域のかかりつけ医のように、住まいについてもカルテを持ち、いつでも診てもらえる場所があれば「快適」なのではないか。そんな発想から顧客管理システム「ホームドクターじゅう犬先生」の開発に踏み切った。

顧客の快適さを 新たな視点で提案

同システムは、弊社が施工した住宅情報をデータベース化して、顧客と共有するというシステムだ。これから起こる修繕箇所と時期、これにかかる費用の目安も知らせるようになっている。親しみやすいキャラクターを採用したのは、建築分野は専門

家でないとわかりにくい部分が多く、それが弊社とエンドユーザーとの隔たりをつくっていることがわかったからだ。あくまでも顧客の立場になって考えた。ビフォー、アフター事例も出し、適切な改修工事を行うことで、家をより住みやすい状態で維持することができることも提示した。カルテを利用して資産価値を維持していければ、売るときも有利だし、買われた方も、カルテを見ながら家を大切にしていける。より良い住宅を提供できれば、地域活性化につながり地域という「環境」への貢献、すなわち「快適な環境」にもつながる。リフォーム住宅を得意とする同社がオリジナルカラーのある住宅を建てて内覧会を行い、独自のサービスも付随すれば、快適な住宅そのものを、どんどんと提供できるだろう。

収益は堅調に増収している。企業理念の要に、時流や政策によって変動するものではなく、「顧客第一」「快適さ」という、不動の価値観を置いているからだ。時代に左右されない価値観を重んじて原点に戻れば、時流に翻弄されることはない。

(黒岩 理恵子)

COMPANY INFORMATION

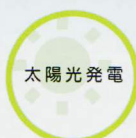
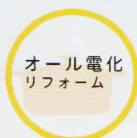
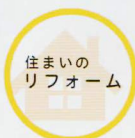
代表：笠 俊治
所在地：福岡県糸島市前原東1-6-3
設立：2002年5月
資本金：1,000万円
TEL：092-332-1231
URL：http://www.q-j-k.co.jp



顧客第一主義

私たちは、「顧客第一主義」を貫き、お客様に最善の機器と施工を行うことができるご提案で、お客様の未来をともに創ります。

個人のお客様



法人のお客様



九州住建のご家庭向け

太陽光発電システム

様々なニーズに合わせてご提案。

太陽光発電について、基本と検討すべきポイントをお教えします！

あなたは**最安業者**と**最良業者**どちらを選びますか？



住まいのリフォーム

長年暮らす空間だからこそより機能的に。

住まいの健康を守り、暮らしを快適にするために。

お客様の未来をともに創ります 〒819-1119 福岡県糸島市前原東1-6-3 双栄ビル1F
株式会社九州住建 TEL:092-332-1231 FAX:092-332-1235

☎0120-961-771 <http://www.q-j-k.co.jp>